

令和4年度事業計画について

世界中に影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、2年が経過した現在においても、相次ぐ変異株の発生などにより、未だ終息の兆しが見えない状況となっています。

長野県の観光産業も、この長期にわたるコロナ禍で大きな打撃を受けており、本市においても、大規模イベントや大型スポーツ大会の中止などが続き、宿泊、飲食、交通など、観光に携わる業界に影響を及ぼしています。一方、国内では3回目のワクチン接種も始まり、国産の経口治療薬も開発されるなど、様々な取組みが進められています。

令和4年度は、県内では善光寺御開帳をはじめ、諏訪御柱祭、穂高神社式年遷宮などのイベントが数多く開催されるまたとない年となります。この機会を逃すことなく、松本に滞在していただけるよう、これまで以上に情報発信に力を入れていく必要があります。

特に国内誘客では「観光の日常化」へ向かう反転攻勢期として捉え、芸術・文化・自然や温泉など、当地域のポテンシャルの高い観光資源の活用と、アウトドア志向の高まりなど、ウィズコロナ時代に対応した事業を展開します。また、国宝松本城や、リニューアルオープンする松本市美術館など、松本ならではの文化施設・文化資源の高付加価値化や利活用に、会員の皆様と協力して取組むとともに、組織の体制強化を進めます。

【国内誘客宣伝事業】

信州まつもと空港を発着する各就航先都市における営業・宣伝・イベント参加のほか、学習旅行の誘致を含めた三大都市圏等への営業、善光寺御開帳等の大型イベントとの連携や、イルミネーション等の冬季の誘客事業をはじめ、新たに松本市が進める夏・冬の国内誘客プロモーション事業へのデジタルを活用した情報発信により、松本への誘客強化に取り組めます。また、県内外や近隣の自治体・団体との連携を深め、広域観光ルートの魅力を発信します。

【海外誘客宣伝事業】

松本地域の観光資源を活用した魅力あるコンテンツ開発を行い、WEBサイトやSNSなどで国内外に広く発信するなどの受入環境整備を行い、訪日外国人旅行の復活に即応できるよう、体制を整えます。また、プロモーション動画の作成や、自然環境・街道歩きなどを取り入れた、アドベンチャーツーリズムの推進に取り組めます。

【地元誘客・受入整備事業】

協会加盟の観光団体による、各地域の魅力を生かしたイベント・誘客事業を支援するとともに、市内で開催されるイベント等と連携し、松本の魅力を発信します。また、着地型旅行商品の企画・販売、観光案内所での利便性の高いサービスの提供、松本まちなか観光ボランティアガイドのおもてなし向上など、観光客の受入体制の充実を図ります。

【コンベンション事業】

集合型・配信サービス併用型による学会等が増加しているため、配信に係る経費の支援など、主催者に寄り添った支援体制を引き続き強化し、セールス活動や、ワークショップなどを通じた新規学会等の誘致活動を行います。また、市内コンベンション施設と円滑なコミュニケーションを図り、主催者のニーズに応えた会場を提案します。

【スポーツコミッション事業】

松本市街地でのスポーツイベントの実施など、スポーツを活用した観光誘客とアウトドアスポーツに適した自然豊かな松本の魅力の発信に取組みます。また、松本・安曇野地域の自然環境や、歴史・文化などの観光スポットを、自転車で自由に巡るイベントを安曇野市と連携して開催します。

【ロケ誘致支援事業】

昨年度松本市内でロケを実施した映画「太陽とボレロ」、「流浪の月」の公開に合わせたロケ地松本の認知度向上を図ります。また、昨年松本市のロケ誘致支援事業が20周年を迎えたことから、松本シネマに認定された作品を中心とした「ロケ地マップ」を作成し、ロケ地情報をインターネットで公開するなど、誘客促進に取組みます。さらに、映画のほか、テレビドラマ、CM、ネット配信動画等のロケーション撮影の誘致や支援活動を行います。

I 国内誘客宣伝事業

1 首都圏・中京圏等営業

(1) 首都圏・中京圏等での営業強化

多くの人口を抱え、松本への来訪が最も多い関東方面・中京方面や中部横断道でつながった静岡等への営業を強化するとともに、誘客につながる効果的な宣伝を行います。

(2) 観光庁・県等主催の観光説明会

大都市圏はじめ全国各地での観光説明会や旅行会社との商品造成商談会へ会員とともに参加し、旅行商品の造成促進に取組みます。

(3) 姉妹都市藤沢市と連携した観光PR

姉妹都市藤沢市との観光交流や連携した観光PRを実施し、湘南地域からの誘客活動を進めます。

(4) 沖縄チャーター便にあわせた現地商談会

長野県が進める沖縄チャーター便にあわせた現地での旅行会社との商品造成商談会へ参加し、松本への誘客に努めます。

2 旅行博出展事業（受託事業）

国内最大の旅行博であるツーリズムEXPOジャパンに、3つ星街道観光協議会の合同ブースを出展します。4年ぶりに東京での開催となるため、協議会構成団体の特

徴、スケールメリットを生かし、効果的なプロモーションを実施するとともに、広域周遊ルートとしての3つ星街道の認知度向上や首都圏から松本市への誘客をさらに促進します。

3 就航先都市誘客促進事業（受託事業）

信州まつもと空港の就航先都市(福岡、札幌、大阪、神戸)において、長野県及び信州まつもと空港地元利用促進協議会と連携し、信州まつもと空港を活用した、松本市内への観光誘客を図ります。

丘珠線の夏ダイヤ通期運航と神戸線の複便化の周知や、利用促進のための営業・宣伝活動を強化し、年間を通じた誘客促進に積極的に取り組みます。

(1) 観光説明会、エージェントセールス

- ア 福岡 旅行会社を対象とした観光説明会及び商談会の開催
- イ 札幌 旅行会社等を対象としたエージェントセールスの実施

(2) 就航先営業

- ア 福岡営業 (年2回⇒4回程度)
- イ 札幌営業 (年4回程度)
- ウ 大阪・神戸営業 (年6回程度)

(3) 助成事業

ア 広告作成費助成金

信州まつもと空港発着定期便を利用し、当協会加盟の旅館・ホテル等への宿泊を含む旅行商品を造成し、広報した旅行会社に対する助成

- (ア) 助成内容 1件当たり5万円～10万円
- (イ) 助成対象期間 4月1日～3月31日(通年)

イ 空港利用送客助成金

信州まつもと空港発着定期便を利用し、当協会加盟の旅館・ホテル等への宿泊を含む旅行商品を造成し、販売した旅行会社に対する利用実績に応じた助成

- (ア) 助成内容
 - ・ 福岡線、新千歳線 片道1,500円、往復3,000円
 - ・ 神戸線 夏期：片道2,000円、往復4,000円
冬期：片道2,500円、往復5,000円【冬期増額】
 - ・ 大阪(伊丹)線、丘珠線 片道2,500円、往復5,000円
- (イ) 助成対象期間
 - ・ 福岡線、新千歳線 4月1日～6月30日、11月1日～3月31日
 - ・ 神戸線 4月1日～3月31日(通年)
 - ・ 大阪(伊丹)線、丘珠線 運航期間中

ウ 空港利用レンタカー助成金

信州まつもと空港到着の定期便を利用し、レンタカーを含む旅行商品を販売した旅行代理店及びレンタカーを貸し出した当協会会員に対する利用実績に応じた助成

- (ア) 助成内容 片道2,500円、往復5,000円
- (イ) 助成対象期間 4月1日～3月31日(通年)

エ 善光寺御開帳記念 広告作成費助成金【新規】

広告作成費助成の条件を満たし、かつ善光寺御開帳参拝を含む旅行商品を造成し、広報した旅行会社に対する助成

- (ア) 助成内容 1 件当たり 5 万円 (アの広告作成費助成と併用可能)
- (イ) 助成対象期間 4 月 1 日～6 月 29 日 (令和 4 年 1 月から適用)

オ 善光寺御開帳記念 送客助成金【新規】

空港利用送客助成の条件を満たし、かつ善光寺御開帳参拝のため高速バス長野ー松本空港線・長野ー松本線または借上バスを利用する旅行商品を造成し、販売した旅行会社に対する利用実績に応じた助成

- (ア) 助成内容 1 人当たり 1,000 円 (イの空港利用送客助成と併用可能)
- (イ) 助成対象期間 4 月 3 日～6 月 29 日

(4) 広告宣伝

就航先都市のメディアやF D A機内誌等を活用した、誘客宣伝事業を実施します。季節運航便である J A L大阪 (伊丹) 線、運航期間が拡大されたF D A丘珠線、複便化されたF D A神戸線の知名度・認知度向上につながるP Rを重点的に行います。

(5) 就航地連携事業 (観光アンバサダー事業)【新規】

F D A松本ー神戸線の利用促進を図るため、ひょうご観光本部が主催する、神戸空港と就航都市を行き来し、観光情報をP Rする「観光アンバサダー事業」に長野県観光機構とともに参画します。

4 信州まつもと空港利用促進事業 (受託事業)

F D A福岡線の利用を促進し、主に九州北部からの誘客促進を図るため、福岡のメディア (ラジオ番組) を活用した、信州や松本の観光P Rを行います。あわせて、番組内でリスナー参加型の旅行を企画し、福岡空港発着のツアーを実施します。

5 観光宣伝事業 (受託事業)

(1) 海と山との交歓事業

神奈川県藤沢市と松本市の市民 (公募) が互いの市を訪問し、観光や地元イベントへの参加を通して姉妹都市交流を図ります。

(2) 印刷物作成事業

観光パンフレット等を作成し、観光・物産イベントで使用するほか、市内観光案内所、銀座NAGANO、県観光情報センター (大阪、名古屋) 等で配布します。

インターネットやスマートフォンの普及により、観光情報の入手方法が変化する中で、全てデジタル化 (P D F等) することにより、アクセシビリティを向上するとともに、さらに時流にあった活用しやすい観光パンフレットの在り方を研究し、内容等を見直します。

作成パンフレット名 (予定)	印刷予定部数
通年型総合パンフレット	125,000 部
街歩きマップ	125,000 部
美ヶ原高原散策マップ	40,000 部
上高地散策マップ	90,000 部
まつもと水巡りマップ	20,000 部
イベントガイド	20,000 部

(3) 広告宣伝事業

デジタルを活用した広告配信等、各種メディアを通して、城下町から山岳観光、温泉など、松本の多彩で魅力的な素材やイベント情報等を発信し、誘客につながる効果的な宣伝を行います。

(4) 松本山雅関連事業

サンプロアルウィンでの試合に訪れた対戦チームサポーターを歓迎するため、アウェーゲートに対戦チームのエンブレムをデザインしたのぼり旗の設置、JR松本駅改札口への歓迎看板の掲出を継続します。

6 観光宣伝素材整備事業

市内各所の魅力ある観光資源を生かしたポスター、観光グッズ等を作製し、誘客宣伝イベント等に活用します。

7 松本の宿発信事業

(1) 「松本の宿」パンフレット

松本市内全エリアを網羅した宿泊ガイドの作成

(2) 「松本の宿」WEBサイト

施設、エリア、価格帯、温泉の有無、ペットの可否など、多様化するニーズに合わせた「松本の宿」WEB版の運営

8 善光寺御開帳に伴う誘客事業

4月3日から6月29日まで開催される善光寺御開帳に伴い、善光寺御開帳奉賛会（事務局：長野商工会議所）に参画し、参拝客の周遊等による松本への経済波及効果をもたらす取組みを進めます。また、新たに善光寺と松本市内の主要な観光地、上高地、松本空港を直接結ぶ高速バス（主催：アルピコ交通株式会社）の運行による誘客促進や、その他の関連イベントに協力し、御開帳参拝客の松本への観光や宿泊につなげます。

9 学習旅行誘客

昨年度まで乗鞍地区を中心に行っていた長野県学習旅行誘致推進協議会松本支部の事業が、本年度から市全域での取組みとなったため、その事務局業務を担うとともに、市と協力して学習旅行に特化した誘客事業を進めます。

(1) 旅行会社への学習旅行誘致営業

三大都市圏・近県（新潟、山梨、岐阜等）・長野県内の学習旅行を取り扱う旅行会社への営業を行います。

(2) 長野県学習旅行誘致商談会参加

東京、大阪で開催される長野県主催の商談会に参加します。

II 海外誘客宣伝事業

1 誘客強化に向けて

アフターコロナを見据えた取組みとして、富裕層を対象とした各種事業を展開します。松本地域固有の生活文化や歴史、自然環境、食や物産に対する興味を持ち、その土地な

らではの体験を楽しむなど、この地域の価値を認め、相応の価格を支払うことのできる顧客をターゲットとし、その中核をなす欧米豪を中心に、台湾や近隣アジアのFIT (Foreign Independent Tour※) 市場に、デジタルプロモーションを駆使した誘客に努めます。

※団体旅行やパッケージツアーを利用することなく個人で海外旅行に行くこと。

2 海外受入環境整備事業

地元産品（農産物・水産品）を生かした「食×体験」をメインテーマとして、「歴史や伝統」、「城」、「自然」をキーワードとした地域内の観光資源を「見つけ」「磨き」「発信」する、「松本地域におけるインバウンド向けコンテンツ開発とデジタルプロモーション事業」を昨年度に引き続き実施します。

3 インバウンド地域誘客連携事業

昨年度に実施した「令和4年善光寺街道御開帳記念 善光寺街道を歩く旅造成事業」を継承し、旅行会社が造成した旅行商品のプロモーションや街道歩きツアーなどを実施します。また、ATWS (Adventure Travel World Summit 北海道2023) に向け、PSA (Pre Summit Adventure※) に「善光寺街道を歩く旅」を応募提案するための調査や検証をします。

※サミット前週に任意で実施され、世界各国のエージェントやバイヤーが参加する3～6泊の体験ツアー

4 WEBマーケティング事業

外国人閲覧ユーザー数25万人（欧米豪のユーザー割合62.4%）のWEBサイト「SNOW MONKEY RESORTS」内の松本地域の掲載内容を充実させ、開発した旅行商品を掲載・発信し、販売を促します。

5 海外プロモーション事業

高雄市旅行公会国際旅展（台湾、KTF2022）に松本市と共同で出展するとともに、近年アジアにおける旅行情報収集の上位にランクインする「ユーチューブ」の動画サイトを分析し、これからの外国人プロモーションに適した動画作成と広告宣伝を行います。

III 地元誘客・受入整備事業

1 誘客宣伝支援事業

市内各地域の魅力を最大限に生かし、市内で実施するイベントなどに協力しながら、観光客の受入体制の充実を図ります。

(1) 地域の魅力発信事業

協会加盟の観光団体が、地域特性を生かしながら取組む誘客宣伝事業やイベント事業のうち、松本市への誘客及び経済効果の高い事業に対して、誘客宣伝事業支援金を交付します。

ア 対象事業費の2分の1、上限30万円

イ 年間10企画を予定

(2) 観光関連イベント発信事業

市内で開催されるイベント等と連携し、松本の魅力発信に努めます。

2 受入整備事業

会員等、観光事業者の育成に関する研修や、松本のおもてなし向上を目指した事業を実施します。また、旅行業第3種の県知事登録を受けている当協会の強みを生かし独自の着地型旅行商品を地元の事業者と協働で企画・販売をします。

3 松本市観光案内所管理運営事業（受託事業）

松本市観光案内所（松本駅構内）と松本市観光情報センター（松本市役所大手事務所内）において、窓口・電話・メール等による観光案内、パンフレットの発送等を行います。両案内所とも外国人観光客の案内が可能な「ビジット・ジャパン案内所(通称：V案内所)」として、積極的に外国人観光客に対応します。

また、各案内所に設置されたデジタルサイネージを活用し、動画や画像などを組み合わせた視覚的な観光情報等を発信するとともに、入りやすい施設の雰囲気づくりを図るなど、ホスピタリティの向上に努めます。

4 観光ボランティア運営事業（受託事業）

観光客の要望に応じて、市街地の見所を松本まちなか観光ボランティアガイドが案内します。また、各種研修を通じて技術の向上に努めるとともに、ボランティアガイドが自主的に活動できる体制の整備を行います。そのほか、昨年度実施したウオーキングイベント時のガイドなど、観光案内とウオーキングを組み合わせ新たな事業にも取り組むとともに、幅広い年齢層の参加を促し、組織の活性化を図ります。

IV コンベンション事業

1 誘致事業

国内外、規模の大小・ジャンルなどにとらわれないコンベンションの誘致を目指します。また、情報の入手状況に合わせ、スピード感を持って積極的に誘致を図るとともに、中長期を見据えた誘致事業を実施します。

(1) I M E（国際M I C E エキスポ International MICE EXPO）出展事業

日本で唯一の対面式による商談会を行うコンベンショントレードショー「I M E 2023」に参加し、松本市のコンベンション環境をPRするとともに、大会主催者との商談を通して大会誘致を促進します。

(2) 地方都市コンベンション協議会事業

競合しない5地区（新潟、びわこ、高松、和歌山、松本）のコンベンション推進機関が連携して、各都市への大会誘致を図ります。

ア 主に都内のコンベンション主催者を対象に、プレゼンテーション、意見交換会などを開催します。

イ 学会の連合組織が主催するシンポジウムに合同ブースを出展します。

(3) 国際コンベンション招請事業

J N T Oなどが実施する事業に積極的に参加し、誘致活動を行います。

(4) コンベンション誘致促進事業

ア 誘致宣伝ツール作成事業

コンベンション施設や交通アクセス、アフターコンベンション等、大会主催者が必要とする情報を分かりやすく紹介したツールを作成し、誘致と支援に役立てます。

イ 移動用バス支援事業

コンベンション施設及び宿泊施設の移動に伴うバス運行サービスを実施します。特に、コンベンションの実績が落ちる冬期の支援強化策として、支援するバスの台数の上限を拡大して誘致の強化を図ります。

4月～10月 1大会(上限2台)、11月～3月 1大会(上限5台)

ウ 主催者下見支援事業

松本市内でのコンベンション開催決定にあたり、主催者が会議施設、宿泊施設、パーティー会場などの下見にかかる費用を支援します。(2人分まで、1人あたり5万円を上限)

エ 集合型・配信サービス併用型コンベンション開催促進事業補助金交付事業

松本市内で開催するコンベンションにおいて50名以上の宿泊が見込める集合型と配信サービスを併用(ハイブリッド型)した大会を開催する場合において、地元事業者へ配信機材のリース、サービスの発注を行う場合の費用を支援します。(配信にかかる対象経費の3分の1または上限30万円)

(5) プレゼンテーション・商談会参加事業

JNTOをはじめとしたコンベンション推進団体が主催する会議主催者を対象とした事業(プレゼンテーション、商談会等)に参加し、誘致を図ります。

(6) セールス活動事業

ア 組織内外のコネクション及び調査事業で収集した情報を最大限活用し、コンベンション開催に向けた営業活動を強化するとともに、学会等の事務局の誘致にも取組みます。

イ 過去の営業活動などにより蓄積してきた大会情報データを随時更新するとともに、有効活用して大会誘致につなげます。(5地区コンベンション協議会の情報共有システムを利用)

ウ 2028年に長野県で開催される国民スポーツ大会(国民体育大会)に向け、各競技団体がプレ大会として開催する全国大会の誘致について営業を強化します。

(7) 関係機関連携事業

JNTO、JCCB※、中部コンベンション連絡協議会など関係機関との連携を図り、コンベンションに関する情報を収集し、誘致促進を図ります。

※JCCB(Japan Congress Convention Bureau)

(8) 研修事業

JNTO等が開催するスキルアップセミナーなどに参加し、職員の資質向上を図ります。

2 支援事業

主催者に対して、大会の開催をサポートします。参加者を街全体でホスピタリティを持って迎え、松本の魅力を伝えることで、「松本市でもう一度大会を開催したい」「また訪れたい」と感じてもらえるような支援活動を実施します。また、松本市が認定され

た「女子野球タウン」に関連し、合宿時に「松本の水」を提供します。

(1) 大会主催者への支援事業

- ア 開催計画・準備から大会終了後まで、主催者にとって最適なかたちで事業ができるような支援の実施
- イ 「松本市コンベンション開催促進事業補助金」の申請手続の支援
- ウ 長野県MICE支援補助金申請に伴う県担当部局との調整
- エ ハイブリッド型学会開催の際に使用する配信機器や感染症対策のサーモグラフィの貸出

(2) 大会参加者への支援事業

- ア 観光文化施設入場券（日本語版・英語版）の発行
- イ 手提げ袋（コングレスバッグ）、スポーツイベント用ビニール袋の作製と配布
- ウ 松本市内案内出版物（松本周辺案内）の作成と配布
- エ 会議開催のトップシーズンに期間限定した飲食店ガイドマップの発行
- オ 各種パンフレット作成への協賛と配布

(3) 大会歓迎事業

- ア JR松本駅東西自由通路（お城口）への歓迎看板の掲出
- イ 市内協力飲食店、土産品店、コンベンション施設、宿泊施設、観光文化施設への歓迎ポスターの掲出
- ウ 大会参加者に歓迎が伝わる記念品の製作と配布（環境配慮型ペットボトル「松本の水」等）
- エ 松本ならではのおもてなしによる歓迎支援
 - (ア) レセプションにおける松本らしいアトラクションへの補助
 - (イ) 地酒コーナー、バーコーナーの設営補助
 - (ウ) 甲冑、法被（特に国際会議）の貸し出し等
- オ 会議用備品の貸し出しサービス（プロジェクター、スクリーン、配信機材等）
- カ 大型コンベンションの支援
 - 参加者 1,000 名以上のコンベンションへの参加者を歓迎する事業の実施
- キ インセンティブツアーに対する支援
 - 国内外からのインセンティブツアーに対し、参加者へのおもてなしとしてのギブアウェイ等

(4) 大会告知事業

松本商工会議所会報「会報まつもと」への情報掲載及び「コンベンション開催情報」の発行による大会告知。情報は協会公式ホームページにも掲載

(5) 大会誘致状況

令和4年度以降に開催予定の主なコンベンション

※特記される大会。連続2年以上継続支援している大会を除く。

ア 令和4年度

大会・会議名	日程	会場	参加人数
日本がん登録協議会 第31回学術大会	6/2～4	Mウイング	250名
第19回日本予防医学会学術総会	6/25～26	Mウイング	150名

第 64 回自治体学校	7/23～25	キッセイ文化ホールほか	500 名
第 43 回北信越中学校体育大会 サッカー競技	8/1～3	サンプロアルウィンほか	250 名
第 56 回日本実験動物技術者協会 総会	10/13～15	キッセイ文化ホールほか	700 名
第 70 回日本職業・災害医学会	11/4～6	まつもと市民芸術館	1,000 名
第 63 回日本児童青年精神医学会 総会	11/10～12	キッセイ文化ホールほか	1,000 名

イ 令和 5 年度

大会・会議名	日程	会場	参加人数
Ruby Kaigi2023	5/11～13	まつもと市民芸術館	1,200 名
第 47 回日本遺伝カウンセリング 学会	7/7～9	まつもと市民芸術館	1,000 名
中部リウマチ学会	9/14～16	まつもと市民芸術館	700 名
(公財) 才能教育研究会国際 ティーチャートレーナー会議	10/13～19	まつもと市民芸術館	500 名

V スポーツコミッション事業

1 プロデュース事業

アウトドアスポーツに関連するイベント等の企画運営を行います。

(1) 松本・安曇野サイクルロゲイニング 2022

安曇野市と連携し、自転車を利用した 2 日間のイベントを実施します。各自のペースで、自由に両市の観光スポットなどを巡ります。

ア 日程

10 月 22 日 (土)、23 日 (日)

イ 内容

松本・安曇野両市の美術館・博物館、観光・歴史スポット、グルメスポットなどをコントロールとして設定し、その場所で自転車と一緒に写真を撮ることによってそれぞれに付与されたポイントを獲得するものです。

ウ 募集人員

各日 100 名 合計 200 名

(2) まつもと RUN&WALK F E S 2022

「まつもと*旅RUNマップ」と、「まつもとウオーキングマップ」を活用して、観光客にも地元の方にも、それぞれの体力に応じて松本の秋の 1 日をガイド付きまたは自由に地図を見ながらランニングやウオーキングを楽しむイベントを実施するものです。

ア 日程

11月5日（土）

イ 内容

「まつもと＊旅RUNマップ」と「まつもとウオーキングマップ」記載のコースを、ガイド付き、または自由にランニングとウオーキングで巡ります。各コースに設定されたポイント（3カ所程度）で写真を撮り、それを通過証明として、完走（完歩）された方に記念品を進呈します。

ウ 募集人員

100名

(3) 「まつもと＊旅RUNマップ」作製

ランニングやジョギングを楽しむランナーにとって、観光や出張で訪れた街を走るのはひとつの楽しみでもあることから、走りながら松本の歴史や文化、自然を見たり、美味しいものを食べたり、飲んだりしてもらえるような地図を作成します。

対象を「ランナー」と明確にすることで、他の観光マップとの差別化を図り、「松本にしかない」といった訴求力を高め、誘客を促します。

2 サポート事業

スポーツ大会等の開催を支援し、実行委員会に参画します。

大会・イベント名	日程	主催団体等	参加人数
アルプスあづみのセンチュリーライド2022《桜》	4/16～17	実行委員会	2,000名
アルプスあづみのセンチュリーライド2022《緑》	5/21～22	実行委員会	2,000名
美ヶ原高原ロングトレイルランニングツアー	5/28	株式会社未来図	20名
【松本ヒルクライム】 ツール・ド・美ヶ原高原 自転車レース大会	6/26	実行委員会	1,500名
美ヶ原高原ロングトレイルランニングツアー	7/30	株式会社未来図	20名
【松本ヒルクライム】 乗鞍ヒルクライム	8/28	実行委員会	4,500名
松本探訪ロゲイニング 「松本あめロゲイニング」	9月	県オリエンテーリング協会	100名
第6回松本マラソン	11月 (予定)	実行委員会	10,000名
美ヶ原高原ロングトレイルランニングツアー	10/29～30	株式会社未来図	20名

3 プロモート事業

スポーツ競技団体、関係団体等への営業活動を行い、スポーツ大会・イベントを誘致します。また、海外誘客と連携して、アフターコロナを見据えたサイクリングツアー等の誘致に取り組めます。

VI ロケ誘致支援事業

1 誘致事業

- (1) 映画、テレビのロケーション撮影を誘致するため、首都圏の映画会社、テレビ局、制作会社などに「ロケ地・松本」の魅力を伝えるとともに、首都圏への誘致セールス活動を積極的に展開します。
- (2) 制作担当者・ロケを支援してもらえる方を対象とした「MATSUMOTO Location Guide」のホームページを更新し、最新の情報を提供します。

2 支援事業

- (1) イメージに合うロケ地の情報提供
- (2) ロケーションハンティング（撮影の候補地選び）の案内
- (3) 撮影に必要な許可申請の代行
- (4) 撮影する施設の紹介や借用交渉
- (5) 宿泊施設や関連事業者の紹介
- (6) エキストラ確保の協力等

3 JFC（ジャパンフィルムコミッション）関連事業

- (1) 制作会社対象のロケ地フェアへの参加（10月、1月）
- (2) 定期総会への参加（6月）

4 誘客促進事業

- (1) 令和4年公開映画（「太陽とボレロ」、「流浪の月」等）のPR活動支援及びロケ地を巡る現地ツアーなどの実施
- (2) 松本市ロケ誘致支援事業20周年にあわせ、松本シネマに認定された作品を中心とした「ロケ地マップ」の作成
- (3) ロケ地マップ等の制作による誘客促進
- (4) ホームページ、SNS等による撮影支援した作品等の情報発信

5 その他事業

- (1) 信州フィルムコミッションネットワークへの参加
- (2) 近隣フィルムコミッションとの連携（安曇野市・塩尻市等）

VII 収益事業

1 観光案内所における宿泊斡旋

観光案内所利用者へのサービスの向上を図るとともに、協会の収益を生み出す運営体質への移行を進めるため、市観光案内所（2カ所）で宿泊斡旋サービスを行っています。

2 物品等販売事業

観光案内所窓口等で、観光客のニーズに合ったオリジナルグッズやガイドブック等を

取り扱い、利用者サービスの向上に努めます。

3 その他

食や歴史・文化、自然など、松本の豊富な地域資源を活用したツアーなど、収益につながる着地型商品の企画・販売をします。

VIII その他事業

1 情報発信に関する事業

- (1) 公式ホームページでの発信をはじめ、観光案内所ブログやフェイスブック、インスタグラム、ユーチューブなどのSNSを活用し、イベントや観光など、松本の旬な情報の発信を強化します。
- (2) 松本商工会議所会報「会報まつもと」に「松本観光コンベンション協会ニュース」を毎月掲載します。
- (3) 財務状況を公開し、経営の透明性の向上を図ります。

2 他団体との連携

- (1) 市内外で開催されるイベントへの協賛、後援、協力を行います。
- (2) 加盟団体と連携し、積極的な誘客宣伝活動を行います。
- (3) 国、県及び長野県観光機構、銀座NAGANO、長野県観光情報センター、ながの観光コンベンションビューロー等と協力して誘客宣伝に努めます。
- (4) 松本市や安曇野市、塩尻市などの近隣自治体・観光協会のほか、当協会が加盟する広域観光団体との連携を図ります。

3 クレーム対応及び情報の共有化

松本市の観光全般に対するクレームや要望に積極的に対応し、改善に努めるとともに、会員の皆様と情報を共有し観光受入体制のレベルアップを図ります。

4 団体・個人会員への支援

令和3年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大による影響で厳しい状況下にある会員への支援として、年会費を例年の半額とします。

5 新しい観光誘客の在り方の検討

これからの時代に即した観光団体としての在り方や、アフターコロナにおける新しい観光誘客の取組みなどについて、長期的な視野に立って検討するため、観光アドバイザーを活用し、観光地域づくり法人（DMO）※への登録も選択肢に入れながら、事業の効果的な実施や、組織の体制強化等に取り組めます。

※Destination Management/Marketing Organization 地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人